

平成24年度 学校評価一覧シート

教育目標

- ① 発展性のある学力と高い知性を身に付ける
- ② 正しい判断力と豊かな情操を身に付ける
- ③ 強い体力と逞しい気力を身に付ける

本年度の重点目標

- ① 品位ある西高生
時を守り、場を清め（身の周りをきれいに）、礼を正せ。
・時間厳守 ・挨拶の励行 ・人権意識の発揚 ・環境美化
- ② 智をみがく西高生
・高い志と強い意志 ・意欲の涵養（自己啓発と挑戦）
・確かな学力の育成（基礎基本の充実と思考力・判断力・表現力の伸長）
・授業・補習等への積極的な取組
- ③ 逞しい西高生
・文武両道 ・学校行事への積極的な参加と取組 ・疾病・傷害の未然防止
・不登校生徒への早めの対応→教育相談の有効活用

※達成度は4段階で評価する。
4：大変よくできた。
3：まあまあできた。
2：あまりできなかった。
1：全くできなかった。

愛知県立一宮西高等学校
平成24年7月

項目	本年度の重点目標	具体的方策(名詞形で)	評価規準・基準	中間評価	達成度	中間評価修正点	
学校行事 (総務部) (生徒指導部)	式典や集会を通して品位・品格を高める。	・式典に相応しい身だしなみの定着	4 8割以上の肯定的評価が得られた。 3 6割以上の肯定的評価が得られた。 2 4割以上の肯定的評価が得られた。 1 肯定的評価が4割に満たなかった。	中間評価は実施せず			
		・校歌斉唱を通じた西高生としての自覚の向上	4 8割以上の肯定的評価が得られた。 3 6割以上の肯定的評価が得られた。 2 4割以上の肯定的評価が得られた。 1 肯定的評価が4割に満たなかった。	中間評価は実施せず			
	PTAとの連携の推進	・PTAとの情報交換の充実	4 8割以上の肯定的評価が得られた。 3 6割以上の肯定的評価が得られた。 2 4割以上の肯定的評価が得られた。 1 肯定的評価が4割に満たなかった。	中間評価は実施せず			
学習指導 (教務部) (進路指導部) (各教科会) (各学年会)	学習意欲の喚起	・3年間を見通した教科シラバスの積極的活用	4 シラバスによって家庭学習が活発になり、学習効率が向上した。(生徒・教員がともに効用を認めた) 3 1、2年次のシラバスを活用し、生徒に学習活動への展望を持たせることができた。(50%以上の生徒が評価した) 2 1・2年次のシラバスを活用し、生徒に学習活動への展望を持たせることができた。(50%未満の生徒が評価した) 1 シラバスの活用について教科会で協議したことがなく、生徒もほとんどみていない。	中間評価は実施せず			
		・分かりやすい授業の研究	4 課題を明確にした授業を実施し、授業改善に取り組んだ。 3 教授法の研究協議をふまえ、多くの教員が授業展開に工夫を加えた。 2 現在の教授法の問題点を教科会で研究協議した。 1 授業のあり方について教科会での研究協議がほとんどなかった。	中間評価は実施せず			
		・発展性のある学力の育成	発展性のある学力を育成するために、教科指導や学年運営及び学級運営において 4 充分に取り組むことができた。 3 ある程度取り組むことができた。 2 あまり取り組むことができなかった。 1 全く取り組むことができなかった。	中間評価は実施せず			
生徒指導 (生徒指導部) (各学年会)	安心安全な学校生活に繋がる道徳意識の醸成	・生徒の自己防衛意識向上に向けた積極的な啓発活動の展開	指導全般と生徒の意識向上について 4 8割以上の肯定的評価が得られた。 3 6割以上の肯定的評価が得られた。 2 4割以上の肯定的評価が得られた。 1 肯定的評価が4割に満たなかった。	アンケートの1の結果から、生徒・教員ともに9割以上の肯定的回答が得られたので、生徒の間には指導の効果が少しずつ現れており、概ね評価できる。 ただ、4「大変そう思う」と回答した生徒が2割強しかおらず、最終評価までには、4の割合を50%以上にしていきたい。	4	全校集会ごとに身だしなみ指導を 実行するなど、時宜に応じた指導を より強化していきたい。	
		・規範意識と心豊かな人間性の醸成	指導全般と生徒の意識向上について 4 8割以上の肯定的評価が得られた。 3 6割以上の肯定的評価が得られた。 2 4割以上の肯定的評価が得られた。 1 肯定的評価が4割に満たなかった。		4	全校集会ごとに身だしなみ指導を 実行するなど、時宜に応じた指導を より強化していきたい。	
	・交通安全指導の充実	交通事故の件数について 4 年間の交通事故件数が10件未満となった。 3 年間の交通事故件数が15件未満となった。 2 年間の交通事故件数が20件未満となった。 1 年間の交通事故件数が20件以上となった。	中間評価は実施せず				
進路指導 (進路指導部) (各学年会)	生徒の希望進路の実現	・進路情報の収集・整理・検討と、ニーズに応えた進路情報の提供	4 8割以上の肯定的評価が得られた。 3 6割以上の肯定的評価が得られた。 2 4割以上の肯定的評価が得られた。 1 肯定的評価が4割に満たなかった。	9割近い肯定的評価ではあるものの、1、2年生では1割を超える否定的評価がある。1、2年生が求める進路情報とはいかなるものかを調べる必要がある。	4	1、2年生が求める進路情報とは いかなるものかを考えていきたい。	
		・補習等の課外学習指導の充実	4 8割以上の肯定的評価が得られた。 3 6割以上の肯定的評価が得られた。 2 4割以上の肯定的評価が得られた。 1 肯定的評価が4割に満たなかった。		4	なし	
安全指導 (保健部) (各学年会)	救急救命への取り組みと校内美化の推進	・心肺蘇生法、AED操作技術の習得	心肺蘇生法手順やAED操作技術を 4 8割以上の生徒が習得できた。 3 6割以上の生徒が習得できた。 2 4割以上の生徒が習得できた。 1 習得できたのは4割未満だった。	講習会参加生徒44名中、36名(83.7%)の生徒が十分に技術を習得できたと回答。教職員参加者29名(アンケート回答28名)内、12名(42.6%)がスムーズに実施できたと回答している。生徒の35名(79.5%)が心肺蘇生法講習経験があり、何度も受ける大切さを自由記述欄に記載していた。	4	なし	
		・生活環境と清掃に対する生徒の意識向上	4 8割以上の生徒が十分に清掃ができた。 3 6割以上の生徒が十分に清掃ができた。 2 4割以上の生徒が十分に清掃ができた。 1 十分に清掃ができた生徒が4割未満だった。		3	環境美化の大切さをさらに意識付 けける必要がある。	
部活動 生徒会行事 (各学年会)	部活動成果の向上	・日々の練習の充実	毎日の練習が 4 充実していた。 3 ある程度充実していた。 2 あまり充実していなかった 1 充実していなかった	中間評価は実施せず			
		学校行事の充実と発展	・委員会活動の活性化と生徒の主体的な参加	学校行事に 4 積極的に参加できた。 3 ある程度積極的に参加できた。 2 あまり積極的に参加できなかった。 1 積極的に参加できなかった。	中間評価は実施せず		
読書指導 (図書部) (各教科会)	積極的な図書館利用の推進	・生徒の読書推進	図書の貸出が 4 増加した。 3 ほぼ同程度であった。 2 やや減少した。 1 減少した。	今年度6月までの貸出冊数は、757冊であった。一昨年度の886冊、昨年度の811冊からさらに減少した。 来館者数も、昨年度よりやや減少している。	2	本の選定や、紹介方法を工夫し、 生徒の興味を引くようにしていきたい。	
		・利用しやすい図書館への工夫	利用しやすい図書館への工夫が 4 十分にできた。 3 ある程度できた。 2 あまりできなかった。 1 不十分であった。		中間評価は実施せず		
		・図書委員による行事活動の充実	行事活動が 4 充実していた。 3 ある程度充実していた。 2 あまり充実していなかった。 1 充実していなかった。		はじめて図書委員になった生徒が多かったが、短い時間の中でテーマを設定し、資料を持ち寄り、工夫した展示ができた。	3	秋の企画展に向けて、展示・広報 など、さらに工夫し、充実したもの にしていきたい。